

小学生(低学年)向け



『一年一組せんせいあのね こどものつばやきセレクション』
鹿島和夫／選 ヨシタケシンスケ／絵
理論社 ¥1,500 (税別)

神戸市の小学校で鹿島和夫先生が担任した1年生の日記ノート「あのね帳」から、54のつばやきを選んだ一冊。思わず笑ってしまうものや感動するものまで、1年生から生まれた心を動かす言葉を、ヨシタケ氏のイラストと共に楽しめる。



『かえでちゃんとひみつのノート』
大久保雨咲／作 植田真／絵
小峰書店 ¥1,200 (税別)

転校で心細い気持ちのかえでちゃんは、ノートにクマに似た「もじゃりん」を落書きした。新しい学校での出来事を話すと、もじゃりんは温かく見守ってくれる。やがて、かえでちゃんの気持ちに変化が……。もじゃりんの視点で描く優しい物語。



『甲府の動物園物語』
三井ヤスシ／さく・え
ミツイクリエイティブ ¥1,000 (税別)

戦時中から戦後、甲府の動物園で、動物の命を守るために餌を手に入れたり、「猛獣処分」を防いだりや奮闘した小林承吉園長を描いた絵本。子どもたちに身近な動物園を通して、戦争や、平和の大切さを伝える一冊。



『その絵ときたら!』
ミシェル・マーケル／文 パーバラ・マクリントック／絵 福本友美子／訳
ほるぷ出版 ¥2,400 (税別)

ランドルフ・コールデコットは19世紀イギリスの挿絵画家。見るだけで物語がわかる、いきいきとした絵は人気を博し、後世の絵本画家にも影響を与えた。米国で最も重要な絵本賞である、コールデコット賞の由来となった画家の伝記絵本。



『トットちゃんの15つぶのだいず』
黒柳徹子／原案 柏葉幸子／文 松本春野／絵
講談社 ¥1,600 (税別)

トットちゃんが小学校2年生のときに戦争が始まった。当たり前だったことが失われ、食料が不足し、一日の食べ物は炒った大豆15粒だけになってしまう。大豆をいつ食べるかトットちゃんは悩んで……。女優の黒柳徹子さんの戦争体験を描いた絵本。



『はっばのほん』
いわさゆうこ／著
文一総合出版 ¥2,000 (税別)

身近な植物、野菜、果物、毒を持つものまで、130種類以上の植物の葉をイラストで紹介する一冊。葉の感触が伝わってくるような写実的な絵が魅力的で、巻末の解説を併せて読むと、より一層理解を深めることができる。



『目でみるえいごのずかん』
おかべたかし／文 やまでたかし／写真
東京書籍 ¥1,600 (税別)

英語では「大きな木に咲く花」を blossom、「草や大きくなならない木」に咲く花を flower と言う。springのように同じ綴りでもバネと春という違う意味を持つ言葉がある。さまざまな英語を見開きの写真で比べながらわかりやすく説明する、見て楽しめる一冊。



『やさしいのはなんのはな?』
宮崎祥子／構成・文 網野文絵／写真
岩崎書店 ¥1,400 (税別)

野菜の花をじっくり見たことがあるだろうか？星の形の花や、とげの先に咲く紫色の不思議な花など、野菜の花の写真が紹介されている。「やさしいのはなだよ、なんのはな？」とクイズ形式で、楽しみながら知的好奇心が育てられる科学絵本。

その他のおすすめの本

『あさがおとはるくん』
キッチンミノル／さく PHP 研究所 ¥1,400 (税別)

『いろいろないきものがぞくのカタチ』
澤口たまみ／文 たしろうちさと／絵 福音館書店 ¥1,400 (税別)

『おじいちゃんのくるみのき』
アミ=ジョン・バケット／ぶん フェリシタ・サラ／え ひさやまたい／やく 評論社 ¥1,600 (税別)

『おばあちゃんちのふしぎなまど』
シビル・ドラクロワ／さく 石津ちひろ／やく ほるぷ出版 ¥1,900 (税別)

『すいぞくかんのおいしゃさん』
大塚美加／ぶん 齋藤楓／え 福音館書店 ¥1,000 (税別)

『すもうのずかん』
オゼキイサム／絵 藤井康生／監修 Gakken ¥1,300 (税別)

『世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん』
十河孝男、十河ヒロ子／文 本田亮／絵 合同出版 ¥1,800 (税別)

『たいふうごま』
おくやまゆか／作 ほるぷ出版 ¥1,500 (税別)

『ちいさなふたりのいえさがし』
たかおゆうこ／さく 福音館書店 ¥1,000 (税別)

『どうぶつみずそうどう』
かじりみな子／作 偕成社 ¥1,500 (税別)

『ぼくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか』
しゅん／作 えがしらみちこ／絵 KADOKAWA ¥1,300 (税別)

『ヨシ』
リン・コックス／文 リチャード・ジョーンズ／絵 いわじょうよしひと／訳 あすなろ書房 ¥1,500 (税別)